



▲ 町の南側を望むと中国山地の穏やかな山容が安らぎを与えてくれる

支援制度

support for new farmer

1 新規就農者向けの支援制度

新規就農時の機械・施設に助成
就農条件整備事業

- 対象者** 町内に就農する認定就農者等
就農時から5年以内、65歳未満)
- 内容** 次の場合に助成する。
①農協または公社が認定就農者等に対し就農時に必要な機械・施設を貸与するために整備する場合
②認定就農者自ら就農時に必要な機械・施設を整備する場合
- 補助率** 1/2 事業費上限2,000万円)



2 移住・定住者向けの主な支援制度

住宅等	空き家情報活用制度	町が賃貸・売却希望のある空き家を募集・登録し、移住希望者へ情報提供
	定住相談への対応	次の相談に対応する。 転入希望者の住宅・職業等に関する相談 定住希望者の受入れや農地提供希望に関する相談ほか
子育て	通学費用の助成	町内に居住する小・中学生の遠距離通学者に対し、バス代を助成

Town Topics

幸せサインに会えるまち ~ オンドリと金持神社

日野町を流れる日野川はオンドリの飛来地。夫婦仲が良くつがいの様子もほほえましい鳥の姿は、10月から3月にかけて多いときは80羽以上も目にする事ができる。

一方、町内の金持(かもち)地区には、金持神社という全国で1か所しかない縁起の良い名前の神社が、土地の武将が必勝祈願をした伝説も残り、開運・金運を求めて多くの参拝客が訪れる。

夫婦円満と金運開眼。幸福にまつわるパワースポットが2つそろったまちも珍しい。



担当者メッセージ

日野町産業振興課
矢田貝 慎一さん

自然豊かな中山間地域に位置する日野町は、日野川清流の良質な水と昼夜の温度差が大きい気候に恵まれ、米を中心に農業の盛んなまちです。町の人々も風土と同じく心優しく穏やか。移住するには最適な場所です。新たに就農を目指す方を私たちが全面的にバックアップします。

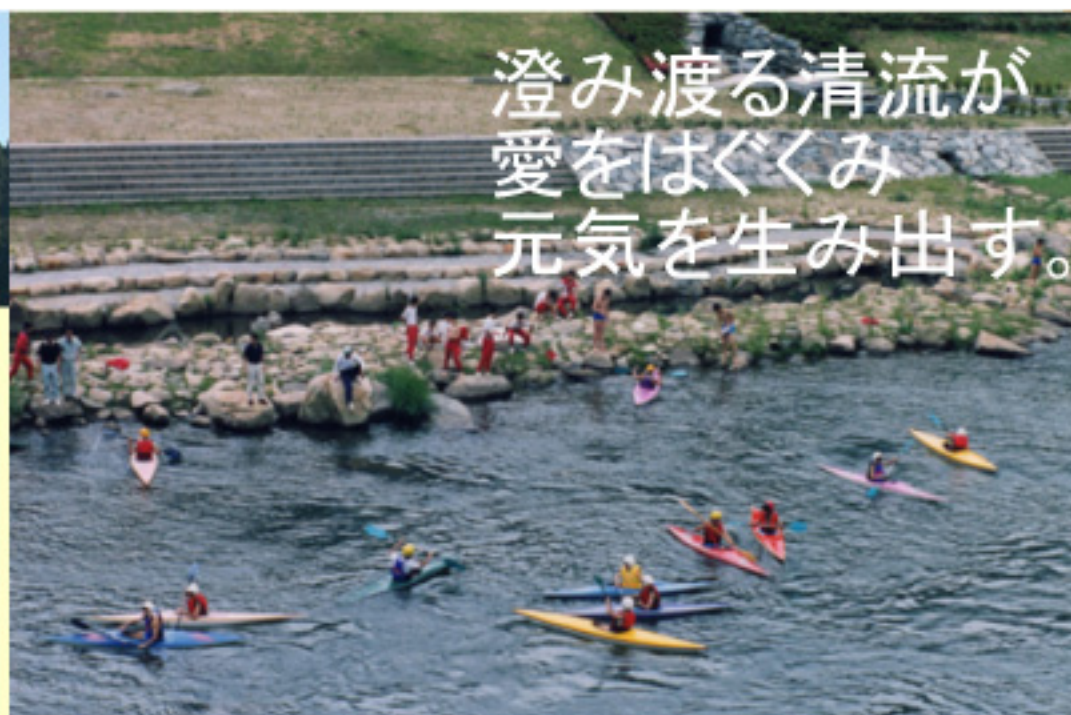
新規就農者紹介

住田 真一さん

平成14年3月に就農。水稻・野菜を栽培している。自分の作りたい作物を早く見つけることが農業を続けるコツだという。現状の農業は厳しい面も多いが、周囲の人に早めに相談しアドバイスをもらうことが成功への早道とエールを送る。



澄み渡る清流が
愛をはぐくみ
元気を生み出す。



清流・日野川とオンドリは町のシンボル。西日本屈指のカヌーの里でもある▲

まちの環境と農業

environment & agriculture

気候

積雪する冬期にはオンドリが飛来

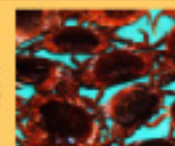
夏は比較的涼しく、雨が多い。冬期になると多い地区で1.0m前後の積雪がある。秋から春先にかけて冬の渡り鳥オンドリが飛来する。



地勢

日野川は沢ガニも生息する美しさ

町の中央部を県の三大河川の一つ・日野川が流れる。日野川や町内の小川には沢ガニが生息し、水質の高さを物語る。南部は中国山地の山々が連なる。



農業

米が農業産出額の半分を占める

日野川流域の平野部で米を主体とした農業が行われている。農業産出額は約4億円(平成18年)で、そのうち半分を餅米を含む米が占める。ほかに白ねぎ、そばなど。



主な農産物

agricultural products

良質のコシヒカリと伝統の鈴原糯

良質の水に恵まれ昼夜の温度差が大きい日野町では米づくりが盛ん。コシヒカリを中心としたうるち米のほか、餅米に取り組む農家も多いのが特徴だ。この餅米は愛知県で開発された「鈴原糯」(すずはらもち)という銘柄。長く地域の特産品だったが、倒れやすい丈長で収量も少ないため栽培が減少していたところ、伝統の味を守ろうと女性たちが奮起。加工所で作った餅は風味豊かと評判だ。

米餅米



日野町

【ひの・ちょう】

BASIC DATA

人口	3,972人(H21)
農業就業人口	550人(H17)
面積	13,402ha(H21)
経営農地面積	293ha(H17)
特産品	米、白ねぎ、餅米ほか



お問い合わせ先

日野町産業振興課
〒689-4503 鳥取県日野郡日野町坂南101
☎ 0859-72-2101
<http://www.townhino.tottori.jp/>